

人工尿臭(消臭試験用)

精度の高い消臭効果検証を可能にする、人工尿臭試薬

「尿のにおい」といえば一般的にアンモニアが思い浮かびますが、実際の尿臭はアンモニアだけでは説明できない複雑な臭気です。SEK(繊維評価技術協議会)の消臭性試験規格にアンモニア臭が含まれている一方で、実際の尿臭は個人差や体調によるばらつきがあり、衛生面での制約も伴います。本製品は、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが尿のにおいに対する消臭効果の評価を目的に開発した試薬です。^{*1}

製造および販売は、林純薬工業が行っており、さまざまな分野の消臭効果を測定する評価試験にお役立ていただけます。



特長

01

リアルな尿臭に近い評価が可能

^{*1}(特開 2024-006115)
東京都立産業技術研究センターの保有特許

02

指定濃度以下のため
法規制対象^{*2}の原料でも
試薬の管理が容易

^{*2}下記法規制対象に該当
・覚醒剤取締法
・劇物取締法

03

SEKマーク繊維製品認証基準
(又はISO 17299-3)による
機器分析試験法・GC法の
評価が可能

こんな分野・用途におすすめ



介護用肌着・下着
紙おむつやパッド・ライナー

空調・脱臭装置

トイレ用芳香・消臭・防腐剤

その他消臭試験



製品情報

1本/セット、3本/セットの2種類の容量がございます。

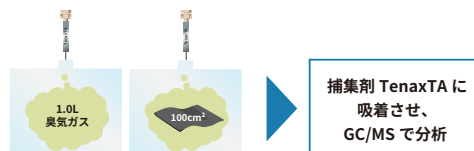
製品名	品番	容器	容量
EP 人工尿臭(消臭試験用)	44035391	マイティバイアルNo.2 (1.5ml)	1ml×1本
	44035400	マイティバイアルNo.2 (1.5ml)	1ml×3本

※EP (Extra Pure Reagent) JIS 試薬 一級に準じた社内規格適合品

試験方法例

消臭試験加熱脱着(TD)法

- ① 試料をにおい袋に入れる。(空試験として、何も入れていない袋も用意)
- ② 無臭空気1Lを袋内に充填する。
- ③ 人工尿臭10 μ Lを袋内に注入する。
- ④ 2時間静置し、TenaxTAに吸着させ、GC/MSにて分析する。
- ⑤ ブランクと試験品のピーク面積値から、減少率を算出する。



$$\text{減少率(\%)} = \frac{\text{空試験のピーク面積値} - \text{試験品のピーク面積値}}{\text{空試験のピーク面積値}} \times 100$$

※今回、TD法の事例をご紹介しましたが、SEKマーク繊維製品認証基準(又はISO 17299-3)による機器分析試験法・GC法でも評価は可能です。

官能試験

官能試験による評価としてもご利用いただけます。

参考:「SEKマーク繊維製品認証基準」第6章 21.消臭性試験の官能試験

試験方法

- ① 500ml三角フラスコに試験片(5×20cm(100cm²)又は、1.0g)を入れます。
- ② 臭気強度3.5相当に濃度調製した臭気成分5 μ Lを入れます。
- ③ 2時間後フラスコ内の雰囲気臭を判定臭気(臭気強度2.0相当)と比較し、判定します。

判定基準

試験後のフラスコ内の臭気と試験片の着臭を判定臭気(臭気強度2.0)と比較し、6人中5名以上のパネルが、フラスコ内の臭気と試験片の着臭の両方とも、判定臭気強度と同等か同等以下であると判定する。



臭気強度3.5の調製方法

臭気成分	人工尿臭
溶媒	エタノール
原臭溶液作成	① エタノールに本製品1mLを溶かし、メスアップして10mLにする。 ② ①の溶液から0.2mLの溶液をエタノールに溶かし、メスアップして100mLにする。
500ml三角フラスコへの注入量	エタノール液5 μ L(マイクロピペット)

臭気強度2.0の調製方法

臭気成分	臭気強度3.5の人工尿臭
溶媒	エタノール
希釈率	1/30
500ml三角フラスコへの注入量	エタノール液5 μ L(マイクロピペット)



本社・大阪営業所

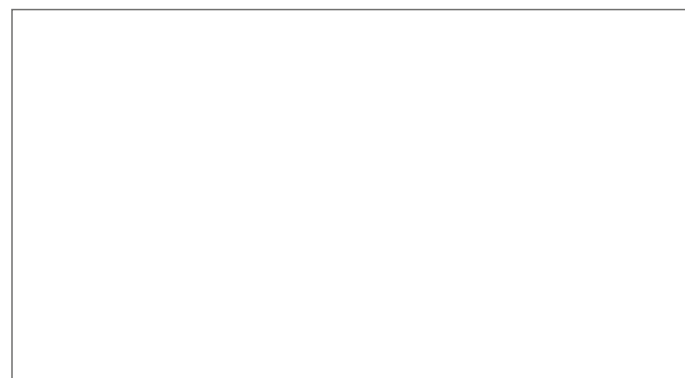
〒540-0037 大阪市中央区内平野町3丁目2番12号
TEL:06-6910-7338 FAX:06-6910-7340

東京営業所

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-6-7(光洋ビル1F)
TEL:03-3241-6293 FAX:03-3241-6235

九州営業所

〒849-0305 佐賀県小城市牛津町上砥川1641-17
TEL:0952-51-5777 FAX:0952-51-5778



本紙記載の製品構成は2025年1月現在のものです。
諸般の事情により予告なく変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

